

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第539号 令和4年5月・6月



『横浜三溪園』 眞鍋 勉

## 目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	7) 理事会報告	広報部 … 14
2) 専門医に学ぶ	瀬沼幸司 … 4	8) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 20
3) 西多摩コロナワークショップ報告	学術部 … 6	9) お知らせ	事務局 … 26
4) 学術講演会予定	学術部 … 9	10) 表紙のことば	眞鍋 勉 … 27
5) 連載企画	奥村 充 … 10	11) あとがき	近藤之暢 … 27
6) 広報だより	鹿児島武志 … 11		

## 保健所だより

### 感染症だより 2月

#### 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2022年 第4週～第7週（1/24-2/20）の間に保健所で受理された感染症について、管内（青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩）の医療機関より以下の報告がありました。

#### (1) 全数報告疾患 届出件数

##### 〈二類感染症〉

- ・結核 7件 肺結核 2件、潜在性結核感染症 5件。年齢は10歳未満 1件、20代 2件、40代 1件、50代 1件、70代 2件。

##### 〈五類感染症〉

- ・アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は60代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明。
- ・梅毒 2件 患者2件（早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件）、性別は男性2件、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触。

##### 〈新型コロナウイルス等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 7411件（疑似症・取り下げ除く暫定値）

#### (2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第4週	第5週	第6週	第7週
		1/24～	1/31～	2/7～	2/14～
インフルエンザ	インフルエンザ（外来）				
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				
	感染性胃腸炎	37	33	25	43
	水痘		2		
	手足口病	6	6	2	
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	3	5		
	ヘルパンギーナ				
	流行性耳下腺炎				
眼科	不明発疹症				
	川崎病				
基幹病院	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				
	インフルエンザ入院				
	合計	46	46	27	43

#### 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 7週（2/14～2/20）時点

定点：感染性胃腸炎が第3週でピークアウトしています。

インフルエンザの流行の兆しはありません。

## 感染症だより 3月

### 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2022年 第8週～第11週（2/21-3/20）の間に保健所で受理された感染症について、管内（青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩）の医療機関より以下の報告がありました。

#### (1) 全数報告疾患 届出件数

##### 〈二類感染症〉

- ・結核 1件 潜在性結核感染症 1件。年齢は10歳未満 1件。

##### 〈四類感染症〉

- ・レジオネラ症 3件 肺炎型 3件。 感染地域は東京都3件。年齢は50代3件。

##### 〈五類感染症〉

- ・梅毒 1件 患者 1件。早期顕症梅毒Ⅰ期 1件。性別は男性1件、推定感染地は不明、推定感染経路は性的接触。

##### 〈新型コロナウイルス等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 5971件（疑似症・取り下げ除く暫定値）

#### (2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第8週	第9週	第10週	第11週
		2/21～	2/28～	3/7～	3/14～
インフルエンザ	インフルエンザ（外来）				
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				8
	感染性胃腸炎	26	28	26	13
	水痘	1	1	2	
	手足口病				
	伝染性紅斑				
	突発性発しん		1	1	2
	ヘルパンギーナ				
	流行性耳下腺炎	1			1
	不明発疹症				
川崎病					
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				
	インフルエンザ入院				
	合計	28	30	29	24

### 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 7週（3/14～3/20）時点

定点：対象疾患全般で定点当たり報告者数が例年並み以下になっています。

文責：西多摩保健所保健対策課

# 専門医に学ぶ 第154回

公立福生病院 外科 瀬沼 幸司

症 例：60歳代，女性．

主 訴：右乳腺腫瘍．

既往歴：特記事項なし．

家族歴：乳癌(-)，卵巣癌(-)．

現病歴：2020年12月上旬より右乳腺腫瘍自覚．

2020年12月下旬精査加療目的に紹介受診．

現症：右乳腺外側上方に2.0cm大の腫瘍を触知．腋窩リンパ節腫大(-)．

画像診断：図1にマンモグラフィ，図2に超音波検査画像を示す．

図1. マンモグラフィ

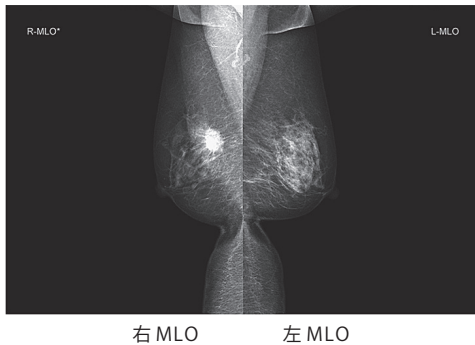
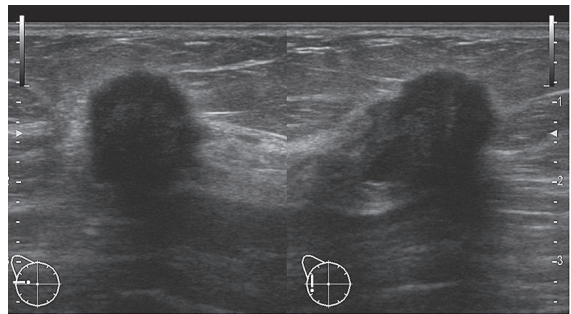


図2. 超音波検査



## 問題

確定診断に必要な検査は何か．

- 1) 乳腺MRI検査．
- 2) CT検査．
- 3) 骨シンチ検査．
- 4) 針生検 (Core needle biopsy)．

## 回答と解説

触診で，右乳腺外側上方に2.0cm大の硬い腫瘍を触知し，マンモグラフィ (MLO view) で，右乳頭頭側に高濃度腫瘍影を認める．超音波検査で右乳腺外側上方に縦横比の高い (球形に近い) 低エコー腫瘍を認める．

以上より乳癌が疑われます．

回答：4) 針生検 (Core needle biopsy)．

## 解説

- 1) 乳腺MRI検査は，乳癌の広がり診断 (乳管内進展) を評価して，術式 (乳房切除術か乳腺部分切除術) を決めるために施行します．

- 2) CT検査は、乳癌の遠隔転移（進行乳癌の場合、骨、肺、肝臓、脳に転移する可能性がある）や腋窩リンパ節の腫大等を評価するために施行します。
- 3) 骨シンチ検査は、骨転移の有無を評価するために施行します。

- 4) 針生検（Core needle biopsy）は、局所麻酔下に、USで腫瘍を確認しながら16ゲージの生検用穿刺針を使用して、3～4回穿刺して腫瘍組織を採取します。

図3は、腫瘍組織のH-E染色です。組織学的には3本のcoreともに、脂肪組織を含む間質浸潤を呈する乳管癌を認めています。

図4は、腫瘍組織の免疫染色です。茶色く見える部位（細胞）が、陽性細胞です。

当症例では、エストロゲン受容体陽性（陽性率95%以上）、プロゲステロン受容体弱陽性（陽性率5%）、HER2陰性、Ki-67 10%でした。

免疫染色で乳癌の性質を確認します。

エストロゲン・プロゲステロン受容体が陽性的の場合、全身療法でホルモン療法が有効となります。HER2陽性的の場合、全身療法での分子標的療法（抗HER2薬）が有効となります。

Ki-67は腫瘍細胞の増殖能力を表し、数字が大きくなると増殖能力が高くなります。

進行乳癌の場合、手術前に化学療法を施行することがあります。

その場合、針生検でのホルモン受容体、HER2、Ki-67等を参考にして使用薬剤を決定していきます。

乳癌の確定診断に必要な検査は、組織診断です。

図3. 針生検検体（HE染色）

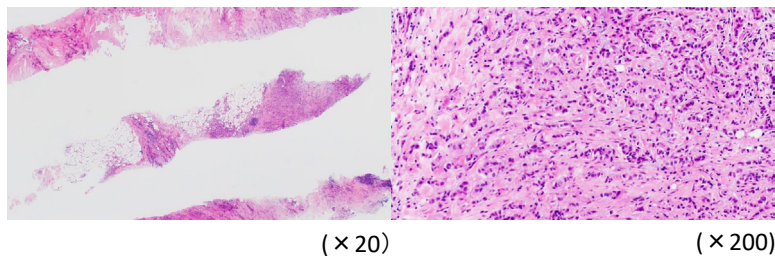
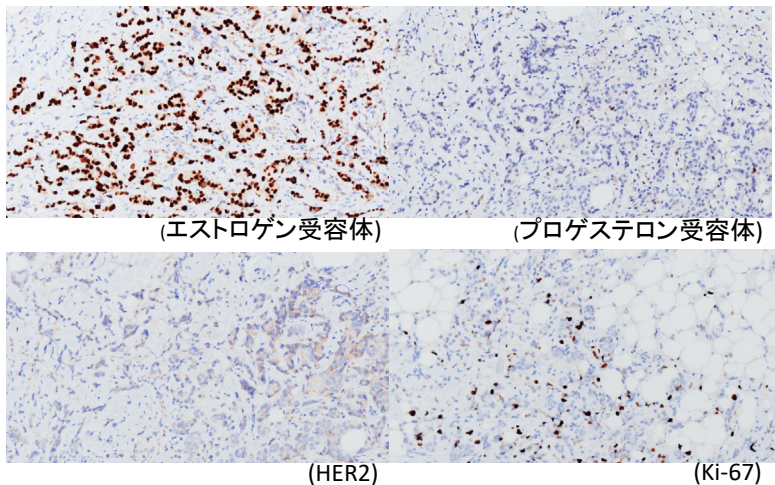


図4. 針生検検体（免疫染色）



# 西多摩コロナワークショップ報告

『COVID-19の西多摩医療圏における2年を振り返って』

学術部 大野芳裕

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度予定されていた臨床報告会と西多摩パネルディスカッションは中止されたが、2022年3月10日に、この2年間の西多摩医療圏でのCOVID-19対応に関する「西多摩コロナワークショップ」が西多摩医師会館2階講堂からのWeb配信にて行われた。3公立病院、医師会から5演題の発表が行われた。現時点においてもオミクロン株の感染が収束しない状況下であり、その関心の高さから現地8名の他、約50名のWeb参加者となった。各演題発表終了後には質疑応答が行われた。以下に各演題の抄録を掲載する。

総合司会・座長：西多摩医師会学術部部長 下村 智先生

## 1. 当院で経験したECMOを含めた重症例について

日下 祐先生《青梅市立総合病院 呼吸器内科》

### 【抄録】

#### 背景と目的

新型コロナウイルス感染症の流行「第6波」が依然猛威を振るう中、これまで経験した多くのコロナ診療において、当院の役割として重症例の対応も行ってきた。ECMOによる治療も複数経験したため挿管症例とともに共有したい。

#### 方法

第5波までのECMOを含む人工呼吸器管理を行ったCOVID-19重症例14名について、その重症化リスクの有無と転帰との関連、治療について検討した。

#### 結果

年齢中央値は60歳で14名のうち、5例が生存したが、8例が死亡、また1例が治療後に壊死性腸炎、肺炎で死亡した。重症化リスクを有する11例中6例が死亡、4例が生存、1例は他疾患で死亡した。ECMOによる治療を行った3例のうち1例のみ生存した。治療はすべての症例でステロイドが投与され、またレムデシビルが8例、バリシチニブが6例、トシリズマブが3例に投与された。

#### 結論

65歳未満の重症例においても半数が死亡しており、重症例の予後は非常に厳しい結果であった。ECMOはさらに経験を積み重ねて慎重な適応判断を行いたい。

## 2. 公立福生病院PCRセンターの運営について

小美濃 光太郎先生《公立福生病院 感染管理部 感染管理室 感染管理認定看護師》

### 【抄録】

当院のPCR検査センターは、正式名称を「福生・羽村・瑞穂地区合同PCR検査センター」とし、2020年5月18日に開設した。

当初は、時間を平日の14時～16時までの2時間として、救急外来の陰圧管理可能な診察室を1室使用し、最大検査可能数を1日8件（事前予約制）としてスタートした。

2020年8月より、疑い患者の診察や検査依頼数の増加に伴い、外来診察室での検査実施が困難となったため、救急外来入り口近くの屋外スペースに福生市より提供されたテントを設営し実施した。

その後、2021年1月からは、強風や暑さ・寒さ対策として同じ場所にベニア板等を使い周囲を養生し、空調設備を整えたスペースの中で実施し、現在に至っている。

1日の最大検査数は、依頼数の増加に伴い段階的に増やし、現在は1日30件を最大検査可能数としているが、今年1月からのいわゆる第6波では、それを上回る検査依頼があり1月下旬には1日の受検者が40名を超える日も2日あった。

受検者は主に2市1町（福生市・羽村市・瑞穂町）に所在する開業医およびクリニックなどの医療機関から依頼された方の他、圏域保健所からの接触者調査に関連される方、また、当院の外来を受診された方などである。

検査担当者（検体採取）は、当院の内科系以外の医局員の他に週2日（水・木曜日）は、2市1町の医師会の先生方が輪番で来院され担当頂いている。また、検査時はこのほかにバイタルサインチェックと検査介助ために看護師1名と、案内・誘導及び会計等の業務に事務職員2～3名が担当する。

検査の結果、陽性者（確定例）については、当院で速やかに発生届を記載し、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）への入力をもって届け出る。同時に感染管理部から当該患者へ電話連絡を行い、体調を確認した後、自宅待機し保健所からの電話やメールを待つよう指導する。尚、検査陰性者については、事務部医事課の職員から当該者へ電話で報告している。

また、毎月の検査状況報告および運営方法の調整等を行う「福生病院を中心としたCOVID-19感染症対策会議」を毎月1回開催している。

当会議には、2市1町の医師会長および副会長、構成市町の行政職員、および当院院長、事務部、感染管理部が出席し、地域の感染者数や受検者数の増減に応じた効率的かつ継続的なセンターの運営方法を協議している。

### 3. 当院における中和抗体療法およびワクチン接種後の抗体価変動に関する中間報告

後藤 慎一先生《公立阿伎留医療センター 感染症対策本部 呼吸器内科部長》

#### 【抄録】

2021年7月から9月にかけて厚生労働省が特例承認を行った中和抗体療法（カシリビマブ/イムデビマブ、ソトロビマブ）について当院での治療状況を報告する。本法の導入は東京都、西多摩保健所ならび西多摩医師会との連携により、短期入院治療を受け入れることから始まった。対象は発症7日以内の軽症患者で重症化リスク因子を有している事であるが、第5波、6波とでは年齢層、重症度、変異株など疾患背景には大きな変遷があった。この間の使用実績と有害事象について報告する。最後にCOVID-19ワクチン接種後の血中IgG中和抗体の追跡結果について中間報告を行う。

#### 4. 医療従事者を対象とした COVID-19 罹患後の後遺症と SARS-CoV-2 抗体の推移に関する研究 日下 祐先生《青梅市立総合病院 呼吸器内科》

##### 【抄録】

###### 背景と目的

COVID-19 が肺および脳の器質的異常を含めた後遺症をもたらすか否か不明な点が多い。医療従事者を対象とした報告は限定的である。

###### 方法

COVID-19 を発症した当院職員のうち 35 名を対象に、自覚症状、呼吸機能、胸部 CT、脳 MRI、抗体推移を罹患後 3、6、12 ヶ月に検討した。

###### 結果

年齢中央値は 39 歳、男性：女性 = 8 名：27 名、軽症：中等症 = 32 名：3 名。発症 3 ヶ月後に胸部 CT ですりガラス影が 3 例に残存したがいずれも線維化することなく消失した。呼吸機能に異常を認めなかった。発症 3、6、12 ヶ月後に何らかの自覚症状が約 7～8 割に見られた。頻度の高い症状は疲労感、倦怠感、頭痛、気力減退が挙げられ、症状の残存率は、それぞれ発症 3、6、12 ヶ月後に、疲労感 (60.0%、51.4%、50.0%)、倦怠感 (54.3%、42.9%、31.3%)、頭痛 (37.1%、28.6%、18.8%)、気力減退 (34.3%、20.0%、21.9%)、嗅覚障害 (31.4%、31.4%、25.0%)、脱毛 (31.4%、14.3%、9.4%) であった。脳 MRI に異常を認めなかった。SARS-CoV-2 IgG 抗体陽性者は発症 3、6、12 ヶ月後でそれぞれ 77.1%、42.9%、6.3% であり、6～12 ヶ月後に急速に低下した。

###### 結論

脳や肺の器質的異常は観察されなかったものの、自覚症状の長期化により医療従事者の日常業務に支障をきたしている可能性がある。

#### 5. 自宅療養者支援について

進藤 幸雄先生《西多摩医師会 副会長》

##### 【抄録】

2021 年、新型コロナウイルス感染は全国で拡大し、都心部では重症化しても入院することができずに自宅で酸素投与を行いながら入院待機するケースや、場合によっては自宅療養中に亡くなる不幸なケースが発生した。西多摩地域では、自宅療養者の急増に備え、保健所と医師会で協議を進め、自宅療養者への医療支援強化体制が構築された。自宅療養中に医療支援が必要となった場合、保健所から医師会事務局が要請を受け、医師会会員が対応するスキームとなった。24 時間体制や、輪番制も検討されたが、医師会員へのアンケート調査により、医師会会員の総力を挙げても 24 時間体制の構築は困難と考えられ、対応は平日日中のみ、夜間は東京都が依頼した往診専門医療機関が担うこととなった。

2021 年 8 月、第 5 波拡大と同時に自宅療養者支援要請が急増し、構築されたスキームを利用した医療支援は 195 件実施された。実際には療養者から直接医療機関に依頼するケースや、かかりつけ医が継続的に対応したケースもあり、医療支援全体の件数はこの限りではない。往診を要する事例も数件発生したが、逼迫した事例はなく、入院待機中に自宅で死亡するケースは、西多摩地域では発生せずに済んだ。医療支援事例のほとんどは電話等による遠隔診療による薬剤処方であった。夜間帯の要請も数件発生し、往診専門医療機関へ依頼されたが、都心部から西多摩



地域への往診は難しく、遠隔診療と薬剤郵送による対応、または翌日の対応であった。その後夜間対応について、東京都医師会により都内全域を対象としたオンライン受診システムが構築されたが、第5波収束もあり、ほとんど利用されることはなかった。

自宅療養者にはフォローアップセンターからパルスオキシメーターや食料が配布されるが、対応が遅いことが課題となっていた。2021年8月東京都より西多摩医師会に380個のパルスオキシメーターが貸与され、西多摩地域の各医療機関に5個ずつ配布し、適宜陽性者に貸与できる体制となった。都心部で酸素濃縮器が不足している事態を鑑み、東京都医師会より酸素濃縮器の事前貸し出しが行われ、西多摩医師会事務局に5台が用意され、2022年2月現在4台が貸し出されている。

年末から年始にかけて、診療・検査医療機関による健康観察支援事業、中和抗体薬療法促進事業、自宅療養者への往診体制の強化事業などが発出され、診療・検査医療機関はHER-SYSを用いて自宅療養者の健康観察を行えるようになった。健康観察はそれぞれの医療機関に任されており、実態の把握は難しいが、かかりつけ患者や、高リスク者等医療機関の判断で観察を行っている。中和抗体薬促進事業により中和抗体薬投与や内服治療薬投与も可能となったが、薬剤配布が限られており、高リスク患者等に選択的に処方されている。高齢者施設でのクラスター多発に備え、自宅療養者への往診体制の強化事業が発出されたが、窓口の設置、担当医師の配置、夜間・休日の診療など、条件が厳しく、西多摩地域からの申請はなかった。現状では配置医師が対応、又は依頼を受けた往診実施医療機関が個別に対応しているが、配置医療機関が十分な対応をしないなどの問題も発生しており、今後の検討課題と思われる。

## ◇学術講演会予定

令和 4. 4. 21

開催日	開始～終了時間	会場	単位数	カリキュラムコード	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
5.17 (火)	19:00 ～ 20:40	【Web講演】	1.5	45	第30回西多摩呼吸器懇話会 【テーマ：肺癌】 (1) レクチャーセッション 演題「胸部画像診断のポイント①」 演題「胸部画像診断のポイント②」 (2) 特別講演 演題「肺癌の診断～肺癌を見逃さないためのポイント～」	青梅市立総合病院 呼吸器内科医長 日下 祐先生 青梅市立総合病院 呼吸器内科専攻医 村上匠先生 東京医科大学八王子医療センター 臨床腫瘍科 教授 青木琢也先生
5.19 (木)	20:00 ～ 21:20	西多摩 医師会館 【Web講演】			第17回青梅CKD勉強会 演題「当院での病診連携の取り組み」 演題「当院での腎代替療法選択の試みとCKMの経験」	青梅市立総合病院 腎臓内科 副部長 松川加代子先生 公立福生病院 腎臓病総合医療センター 部長 中林 巖先生
6.2 (木)	19:30 ～ 20:30	【Web講演】	1	33	学術講演会 「糖尿病合併CKDの治療戦略と腎性貧血」	三浦中央医院 院長 瀧端 正博 先生
6.30 (木)	19:00 ～ 20:30	【ハイブリッド 講演】			学術講演会 Diamond Seminar in 西多摩ハイブリッド講演会（案） 講演1 「Standards of Medical Care のアルゴリズムからはじめる新しい治療戦略～ミトコンドリアへの作用を期待した新しい治療薬を含め」 講演2 「糖尿病治療における早期治療の重要性について」	たけおクリニック 院長 竹尾 浩紀 先生 東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科 科長 / 講師 松下 隆哉 先生



## カナディアンロッキーの思い出 3

羽村市 小作駅前クリニック 奥村 充

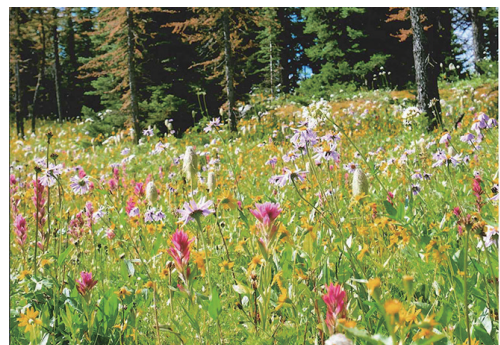
今回は、バンフからバスで30分くらいの所にあるサンシャインメドウズのハイキングコースを紹介します。ここは、夏は花の山のハイキングコースとなり、冬はスキー場になります。この辺りは、気温の低い地域で、夏でも湖に氷が張ることがあるそうです。バンフ市内からサンシャインメドウズの登山口行バスが出ています。バスの終点から、ゴンドラで標高2159mまで一気に上がります。こここのハイキングコースは大きなアップダウンがなく道は整備されており、歩きやすいコースです。ゴンドラを降りて、少し登るとあたりは一面のお花畑となり、スタンディッシュ展望台に到着します。ここからの眺めは絶景です。眼下には、湖の真ん中に島のあるロックアイルレイクが見えます。周囲は、遠くまでカナディアンロッキーの山、山、山。暫くロックアイルレイクとカナディアンロッキーの眺めを楽しんだ後、ハイキングコースを下るとロックアイルレイクの傍にでます。ロックアイルレイクは絵になる存在です。湖の周囲は草原で、奥にはカナディアンロッキーの山が見えます。更に進むと辺りは再びお花畑となります。たくさんの種類の花の中でも、インデアンペイントブラシという花はめだった存在で、標高により花の色が赤だったり、オレンジだったり、黄色だったり、色の変化が印象的でした。白髪の鬼太郎の頭のようなウエスタンアネモネ・シードヘッドも記憶に残る存在です。お花畑を抜け下って行くと次の湖ラリックスレイクに到着です。ハイキングコースは湖を半周し、やがてラリックスレイクから離れ、次の湖グレゴリーレイクに到着します。ここは、谷の底の様な所で薄暗い場所です。グレゴリーが潜んでいそうな雰囲気です。足早に通過し、この先のハイキン



スタンディッシュ展望台から見た  
ロックアイルレイク



湖の真ん中に島のあるロックアイルレイク



お花畑  
手前にある赤い花がインデアンペイントブラシ

グコースをしばらく登り返すとロックアイルレイクに戻ります。カナディアンロッキーの山々が見えるようになるとロックアイルレイクに到着します。カナディアンロッキーの山々とロックアイルレイクとの別れを惜しみながらゴンドラ乗り場へと向かいます。

## 広報だより



### 迫りくる危機

青梅市 かごしま眼科 鹿児島 武志

はじめに

2022年2月24日以降に急変した国際情勢の変化は21世紀の世界に大きな衝撃を与えています。周辺国家を巻き込むロシア・ウクライナ戦争は国家間の非情ともいえるパワーポリティクスの相克関係を如実に表しています。以下の雑文の内容は既知の内容ですが、自然災害とは一線を画した人為的な惨状に対しては恐怖感すら覚えます。

話は少しずれるが、先日、知人の紹介で某国大使の出版記念会に出席する機会を得た。大勢の出席者に大使のよせた挨拶はなんと日本に古より伝わる神道への称賛の言葉であった。何のこともやら事情を知らない私は受付で彼の著作である一冊の本を購入した。その題名は「靖國は世界中にあります。」大使は日本の文化と神道に対して造形が深く日本は神道の国、戦死者を祀る神社があることはごく自然なことです。と表紙に記している。

世界で唯一の神道国家であり戦争で亡くなった方を祀る神社が靖國神社であり、有罪判決を受けたいわゆる戦争犯罪人も祀られている。戦争犯罪者約1000人が祀られている一方で貴重な命を戦場で落とした多くの戦争犯罪人ではない兵士をも悪とみなすのは正しくない。マッカーサーにより一度は靖國神社を解体する案があったが、上智大学のブルーノ・ビッテル神父の説得により中止になったいきさつを本書の中で述べておられる。日本在住で最古参の大使の日本文化・歴史に対する深い理解と愛着が込められている著作であると思った。大使の戦争観はハリウッド映画と実際の戦争は全く異なり戦争は人類最大の恥であり、ナポレオンの言葉を引き出し、「戦争を引き起こすのは金だ」と述べている。強大な軍事力を持っている国々こそ戦争を未然に防ぎ平和と調和のために貢献すべきとも述べている。以上が大まかの要旨である。

だが実際に起きている戦争は大使の言葉とは裏腹に残念ながら血で血を洗う戦いが現在も日々進行中である。寡聞にもウクライナの歴史や国柄については全く知識がなかった。雑文を寄稿するにあたり、かの国の歴史・ロシアとの軋轢などを調べてみた。ウクライナ近辺は9世紀～13世紀頃までキエフ大公国が治めたが、13世紀以降タタールのくびき（モンゴル帝国の侵略）により周辺国との領土の攻防があり、ウクライナ・ロシア・白ロシアに分化した。17世紀中頃ロシア帝国（成立は1721年）がウクライナを支配し帝国内最大の穀倉・工業地帯と位置づけた。1917年ロシア革命がおり、ウクライナ国民共和国として独立したがロシア共産党政権により4年後に併合された。ついで1932年～33年にはスターリンによる強引な農業集団化により大飢饉（ホロドモール）が発生し、300～500万人が餓死したが、その間ソ連は外貨獲得の目的

で穀物輸出を続けていた。またナチスドイツによりウクライナ侵攻時、スターリンは焦土撤退戦略で380万人をウラル以西に移転し、自国の工場施設・炭鉱を破壊した。それに反発したウクライナ蜂起軍が立ち上がり、独・ソ両軍と戦うがソ連軍により壊滅した。その結果第2次大戦で人口の6分の1の530万人が犠牲となった。その後もソ連による圧政が続いたが、1989年のベルリンの壁崩壊に至り1991年ソ連邦は崩壊し15の共和国に分解された。当時ウクライナには核弾頭1240発、大陸間弾道ミサイルが176基残されていたが、米露にとっては厄介物で、1994年ブダペストで開かれた欧州安全保障協力機構会議においてウクライナは米・英・露に国境の不可侵を保証されたことの見返りに核を放棄した。今日、この合意が無ければ、今回のロシアの侵攻はなかったのではといわれている。

2014年東部地方出身で親ロシア派のヤヌコービッチ大統領に対する抗議デモが拡大し政権は崩壊した。(マイダン革命:マイダンとは独立広場の意)これに反発した親ロシア派は2014年ドネスク共和国独立を宣言し、同時期にルハンスク共和国も宣言した。ルハンスク州では親ロシア派武装勢力とウクライナ正規軍との間で戦闘が惹起され南部・東部の親ロシア派による反政府運動が激化し、ドンバス地方においては武力衝突がその後も続き、ドンバス戦争と呼ばれる。ロシアの復活を目指すプーチン大統領は2014年にクリミアを併合し、ブダペスト合意は反故にされた。ついで2015年ウクライナとロシアとの間でドイツとフランスの調停により停戦合意(ミンスク合意)はなされたが、ウクライナとロシアの双方の主張は一致しておらず解決には至っていない。

現在でも終結の糸口が見えないウクライナをめぐる戦争は情報収集活動により戦局を左右しかねない特徴があり、偵察ドローンや衛星を用いた映像を駆使し、リアルタイムで自国に有利な情報を世界に向けて発信あるいはフェイク情報を流出させ、プロパガンダ合戦で相手を攪乱するという情報戦が世界世論を誘導しているようにも思える。戦闘現場や焦土と化した街並みや悲劇に襲われた住民・難民の状況が茶の間でも伺い知れるようになった。これは一種の戦略であろう。当初には軍事力で劣勢と思われたウクライナ軍はスターリンクなどの民間衛星を利用して、敵に対するスポット攻撃を行い戦況は現在のところ有利に働いている。手元のパソコン操作で相手の重装備の武器を破壊できる新局面が戦場で展開された。伝わってくる多くの情報からメディアでは軍事・国際政治・ロシア・ウクライナ事情に詳しい識者が連日のように画面に登場しており、各国が自国の国益を追求する国家のエゴが表面化している事情が世界中に伝わってゆく現象はシリア、アフガン戦争と異なるのが大きな特徴だと思う。

今回は局地戦争でありながら地政学的には軍事同盟・エネルギー資源・食糧資源・経済活動・核所有などがリンクしており、長期的には世界中に極めて大きな影響・危機をもたらす。日本は国の将来にむけて国益を徹底的に追求しなければならないことを痛感した。ロシアの侵攻の理由はドンバス地方のロシア系住民の保護、ウクライナの非武装化・中立化・そして最大の目的はNATO加盟を阻止する点にあり、前述したウクライナVSロシアの歴史を理解すれば軍事均衡を保ち領土保全、安全保障はロシアの国是である。ロシアは第二次大戦で1450万人の軍人の戦死者(民間人700万以上)を出した。ドイツの280万(同230万)、日本の230万(同80万)を抜きダントツの死者数とある。20年以上にわたる事実上の独裁政権維持を果たしてきたプーチン大統領の大ロシア構想があり、その領土保全には軍事で対等するNATO軍(332万人・国防費約1兆485億\$ 加盟国30)の存在は脅威であり、ウクライナの加盟は根底から受け入れられない。この同盟の条約第5条の集団的自衛権が重要で加盟国の一国でも攻撃を受ければ全加盟国に対する攻撃とみなすという強固な軍事同盟となっている。中立を保ってきたフィンランド・スウェーデンもロシアの侵攻を機に加盟予定と報道された。ロシアから見ると地政学的に国

の西側をほぼ NATO 軍が占めている現在、旧ソ連時代のワルシャワ条約機構軍とのバランスの均衡が大きく崩れたことを意味しており、今回の侵攻は突然というよりは米・欧勢力は事前に察知していた結果ととらえる向きも多い。

エスカレーション抑止を超え、切羽詰まって最悪で戦術核兵器の使用（無いと信じるが）となれば被曝国の日本も重大な関心を寄せざるをえない。国連の常任理事国は全て核保有国であり、第二次大戦の連合国でもある。核保有国が先制不使用を宣言することには利点もあり、核を持たざれば核攻撃を受ける恐れがない。そうすれば持たざる国が核兵器を保有する動機が薄れるし、核保有国同士の誤解や不信に基づく核使用の危険性が減るという考えもある。（この先制不使用案はオバマ政権時代に検討されたが日本の反対で断念された）

しかしながら先制不使用が核保有国の間でどれだけ支持されるか実のところ現況のロシア・ウクライナ戦争の実態を考えると疑問が残る。戦術核の用途には3通りあるようで、都市への直接攻撃（広島・長崎で約21万余死亡）、ついで黒海や無人の荒野への脅し攻撃。成層圏での核爆発（電磁パルスにより電子回路の破壊目的）などがあると言われている。

非核3原則は1967年の国会決議で承認されたが、法律で定められている訳ではない。その中で「持ち込ませず」については元首相の「核シェアリングについての議論をしてもよいのでは」との発言は欧州ではすでに稼働（ベルギー、ドイツ、イタリア、オランダ、トルコに合計100基配備）されて有事の際の起動訓練もなされているので今後注目されると思われる。核兵器の保有に関してはNPT条約（核兵器の不拡散に関する条約193か国が加盟）で、1967年時点で核を保有している国以外は開発・製造・入手を禁ずるという内容だが、日本も批准している条約には参加せず、すでに保有している国もいくつかある。

ここまで執拗に核使用の是非について述べる理由は国益の為なら手段を選ばず、相手国を屈服させる切り札として有効な恫喝の材料にはなりうると考えられるからだ。

自然災害を除く今回のような有事の際には資源小国の日本にとっての脅威となるのは、まずはエネルギー資源であろう。日本のエネルギー自給率は2018年度で11.8%で世界34位、オーストラリア320%2位、アメリカ97.7%5位、ドイツ37.4%22位となっている。EUでは輸入する天然ガスの45%、原油の27%をロシアからの輸入に頼っているが、我が国では2011年の東日本大震災以降原発が停止し、再び火力発電が主体となり化石燃料への依存度は85.5%と高値である。エネルギー関連では、ロシアからの原油3%、LNG7.2%、石炭12%、日本国内の石油備蓄は約200日分とあるが（2019年）、20年にわたるデフレによりGDPは低迷し、国力は明らかに低下しつつあり、過去には起こりえた有事の際の円買いにはならず、現在は円安が起きている。原油高に傾けば、関連商品のある程度のインフレを招きかねない。ドイツは天然ガスの輸入をロシアに依存していたが先日、ノルドストリーム2の稼働承認を停止し、フランスは原発を5か所新設することにした。世界中がオイル不足により奪い合いとなれば中東に戦争の危機が訪れる可能性もある。昭和16年旧日本帝国は欧米のABCDライン設定によるオイル需要の逼迫を受け国家の存亡をかけてアメリカ相手に戦争に走った苦い経験がある。

食糧危機による混乱も先進国のなかで自給率の最も低い日本にとってはオイルと同様に国民生活に実質的に大きな影響を与える可能性がある。ちなみに全世界の穀物供給量を小麦、大麦、トウモロコシに限れば上位5位のなかにロシア・ウクライナ両国は入っている。カロリーベースの自給率が37%程度の日本からみれば羨ましい限りである。先日、ロシアはウクライナ領内の穀物貯蔵サイロを6か所攻撃したが、食糧危機をあおる意図がみられる。

穀物以外に重要な穀物の生育に不可欠な物質は肥料だろう。肥料の素はリン鉱石、窒素、アンモニア、リン酸、カリウムなどが成分として重要だがロシアは中国、カナダと並び大資源国とさ

れている。近代農業は特定作物の大量生産、遺伝子組み換えが大規模に行われているが、欧州の農業は肥料の原料をもロシアに依存しているという。供給が長期間にわたり停止ないし滞れば近代農業が崩壊する危険性をはらんでおり、日本も例外ではない。我が国では小麦の備蓄は2か月となっている。コメの生産は減反政策、雇用人口の減少などでかつてほど自給率は高くはないが、一説には飢饉にはならないだろうとされている。小麦類に至っては、中東のイエメン、エジプト、レバノンパンなどの材料となる小麦を両国に大きく依存しており、アフリカ諸国では飢餓状態に陥る可能性もある。さらに戦争が長期化すれば食糧の奪い合いは世界中に拡大する恐れがあり、ロシアよりの輸出大幅減、ウクライナ国内の荒廃した農地での作付け不可能による被害は欧州の4F (feed fertilize fuel finance) に極めて深刻な影響を与えるとの報道があった。

核保有国に囲まれた島国日本は戦争抑止力を目途として非核3原則の見直し議論の是非、また資源小国として資源・代替エネルギー政策の見直し、食糧自給率の向上を目指して農業改革の推進が喫緊の課題だと思われる。

おわりに

以上は4月中旬までの情勢を手短かに記述しましたが事実内容の誤りあるいは理解不足などの点につきましてはどうかご容赦下さい。現時点の国際的情勢をかんがみて、日本は経済力の向上をふまえ、あくまでも個人的見解ではありますが、同盟諸国との関係を維持しつつ将来的に富国強兵を目指すべきかと考えています。

## ● 理事会報告 ●

★ Information ●

2月定例理事会

令和4年2月22日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・吉田・中野・野本)

### 【1】報告事項

#### (1) 都医地区医師会長連絡協議会報告

資料に沿い、2/18に開催された標記協議会の伝達事項等報告

#### (2) 各部報告

公衆衛生部：2/17に開催された地区医師会感染症担当理事連絡会の内容等について資料に沿い報告

#### (3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市

福生市

羽村市 2/15 理事会開催

あきる野市

瑞穂町

日の出町 地区全員の会合を開催予定

奥多摩町 町内の高齢者施設でクラスターが発生している状況等について

## (4) その他報告：

特になし

**【2】報告承認事項**

## (1) 入退会会員、会員異動について

資料により、正会員1名の入会申請が紹介され承認された。また、正会員1名の退会及び異動届2件が紹介・報告された

— 承認 —

## (2) 令和4年度檜原村小・中学校耳鼻咽喉科及び眼科検診の承諾について

標記につき依頼内容（資料）の通り承諾することが承認された

— 承認 —

## (3) 令和4年度あきる野市立小・中学校学校医（内科医・精神科医）の推薦について（依頼）

標記依頼については、地区会にて調整が済んでいることから、資料にある医師を推薦することが承認された

— 承認 —

**【3】協議事項**

## (1) 2022年度西多摩医師会収支予算書（案）について

標記予算書（案）について説明。各役員持ち帰り検討・確認の次回理事会にて決議することとした

— 継続 —

## (2) 令和4年度西多摩地区市町村結核対策委員会委員の推薦について（依頼）

標記依頼について紹介・説明、当年度の委員である宮城理事・片平先生の内諾もあることから、継続して推薦することが提案され可決承認された

— 可決承認 —

## (3) &lt;追加協議&gt; 令和4年度の定時社員総会の開催及び開催日・開催場所について

標記社員総会を6/21（火）に医師会館にて開催することが提案され可決承認された

— 可決承認 —

**【4】その他**

特になし

**3月定例理事会**

**令和4年3月8日（火）**

**西多摩医師会館**

（出席者：玉木・江本・進藤（幸）・土田・宮城・古川・進藤（晃）・田中・井上・下村・鈴木・吉田・中野・野本）

**【1】報告事項**

## (1) 各部報告

公衆衛生部：3/4に開催された地区医師会感染症担当理事連絡会の内容等について資料に

## 沿い報告

## (2) 地区会報告 (各地区理事) :

青梅市

福生市 3/1 臨時社員総会開催

羽村市

あきる野市

瑞穂町 小児へのワクチン接種は集団接種ではなく個別での実施要請によることとした

日の出町 3/1 地区会開催、4月より地区長交代が決定

奥多摩町

## (3) その他報告

特になし

## 【2】報告承認事項

## (1) 入退会会員、会員異動について

資料により、正会員2名の入会申請が紹介され承認された  
また、正会員1名の退会が報告された

— 承認 —

## (2) 令和4年度羽村市立学校医の推薦者一部変更について

資料(西医発64(12/20付))にて推薦済みの標記学校医のうち、羽村西小学校の内科医(関谷先生)について佐々木先生への変更申し出が説明され、羽村地区の了承もあることから推薦者の変更が承認された

— 承認 —

## 【3】協議事項

## (1) 2022年度西多摩医師会収支予算書(案)について

前回説明以降意見等無く、(案)の通りでの承認が提案され可決承認された

— 可決承認 —

## (2) 評議員の推薦について(依頼)

資料により、標記依頼について説明、慣例により引き続き会長を推薦することが提案され承認された

— 可決承認 —

## (3) ICTシステムセキュリティーの強化策と予算について

資料により、医師会事務局パソコンのウィルス感染等について説明され、被害復旧・セキュリティー強化等対応のための概算費用が示されその支出について承認が求められ可決承認された

— 可決承認 —

## 【4】その他

特になし



**3月定例理事会**

令和4年3月22日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・鈴木・中野・野本)

**【1】報告事項****(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料に沿い、3/18に開催された標記協議会の伝達事項等報告

**(2) 各部報告**総務部(社会保険担当)：資料により、3/17日に開催された地区医師会社会保険担当理事  
及び診療報酬改定講演会の内容等について**(3) 地区会報告(各地区理事)：**

青梅市 3/14 理事会

3/17 青梅市三師会開催

福生市 3/15 理事会開催

3/18、2市1町のPCRセンターに係る会議開催

羽村市

あきる野市 3/11 理事会

3/14 定例会開催

瑞穂町 3/15 定例会開催

日の出町

奥多摩町

**(4) その他報告：**

特になし

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**資料により、準会員1名の入会申請が紹介され承認された、また、準会員2名の退会及び  
異動届1件が紹介された

— 承認 —

**【3】協議事項****(1) 令和4年度医療安全研修に係る後方支援の実施について**資料により、令和4年度も標記後方支援が実施されることが説明され、当会事業計画に基づき  
研修の実施について検討することが確認された**(2) 「瑞穂町在宅医療・介護連携事業委託(単価契約)」の締結について**標記契約書(案)について前年との相違点等紹介・説明、意見・修正点等無く締結につい  
て可決承認された

— 可決承認 —

**(3) 令和4年度会費減免新規対象者について**

資料により、令和4年度の減免対象者5名が紹介され、在籍20年未満の審議対象者につ

いて協議、前年同様減免対象とはしないことが決議された

— 否決 —

#### (4) 事務局職員の処遇について

(1) 令和3年11月12日付6か月間の雇用契約により就業している中村浩枝につき勤務状況等正職員採用に問題等ないことが説明され、出席理事からの意見等もなく、令和4年4月1日をもって正規職員として採用することについて報告された

(2) 平成26年4月1日に主任職として任命されている野口由美子につき、病気発症後の回復が思うに任せず、通常勤務以上の就業が困難な状況等説明され、本人の健康維持・回復推進のため残業等時間外勤務も最小限にすることが必要なことから、令和4年3月31日をもって主任職を解くことが提案され可決承認された

— 可決承認 —

### 【4】その他

<追加協議> 産婦健康診査公費助成に関するお願いについて

都医を通じ東京産婦人科医会からの依頼事項が資料により紹介され対応について意見交換。青梅総合病院の産婦人科医等より産婦検診の実施について意見聴取することとした。

**4月定例理事会**

**令和4年4月12日(火)**

**西多摩医師会館**

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・中野・野本)

### 【1】報告事項

#### (1) 各部報告

公衆衛生部：3/24に開催された地区医師会感染症担当理事連絡会の内容等について

総務部(社会保険担当)：3/30・3/31に開催された診療報酬点数改定に伴う講習会の状況等について

総務部：資料により、総会までの日程・スケジュール等の予定及び役員等改選に伴い発出予定の「告示」について

#### (2) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 4/2 青梅市三師会総会開催

4/7・8 特定健診のデータ入力委託業者にかかる説明会開催

福生市 3/2 理事会開催

羽村市 3/24 特定健診のデータ入力委託業者にかかる説明会開催

3/19 理事会予定

あきる野市 3/22 例会開催

瑞穂町

日の出町

奥多摩町

**(3) その他報告**

## ○児童生徒等の健康診断における留意点について

資料により、児童生徒等の健康診断における留意点等について再確認の上、各地区での検討等を依頼資料により、標記委員会の内容等について報告

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員 2 名、準会員 13 名の入会申請が説明・紹介され承認された。また、正会員 1 名・準会員 22 名の退会及び異動届 4 件が紹介・報告された

— 承認 —

**(2) 「羽村第三中学校の学校医（内科医）変更」について**

資料により、標記の学校医変更について羽村地区からの要請が説明・報告され承認された

— 承認 —

**【3】協議事項****(1) ウクライナへの支援金について**

資料により、標記に係る依頼と他医師会の対応状況等が説明紹介され、当会として 10 万円の寄付が提案され可決承認された

— 可決承認 —

**(2) 「奥多摩町在宅医療・介護連携推進事業委託契約書」の締結について**

資料（契約書案）により、内容が前年度と同じであること等が説明され、契約の締結が可決承認された

— 可決承認 —

**(3) 「フレイルサポート医」について**

資料により、標記に係る連絡会への参加依頼が説明され、進藤晃理事の参加が承認された

— 承認 —

**(4) 「業務委託契約書」（脳卒中医療連携推進事業及び糖尿病医療連携推進事業）の締結について**

標記 2 件の契約内容については、いずれも前年同様であり契約書（案）にての締結が可決承認された

— 可決承認 —

**(5) 医師会業務 ICT 化セキュリティ強化について**

資料により、医師会業務の ICT 化推進案及びセキュリティ強化の追加予算案が説明・紹介され取り組み推進案及び追加予算案が承認された

— 可決承認 —

**【4】その他**

特になし

## 会員通知

- 会報3-4月号
- 宿日直表(青梅・福生・阿伎留)
- 学術講演会(3/23、3/25、3/29、4/5、4/22、4/27、5/17)
- 西多摩保健所だより
- 西多摩歯科医師会公開講演会(3/19)
- 脳卒中市民公開講座(3/19)
- 青梅市立総合病院だより
- 令和3年度第1回西多摩在宅医療講座抄録集
- 東京都ナースプラザ「やっぱり看護が好き」vol.75
- 東京都医師会告示
- 健康食品に関する安全性情報共有事業について(情報共有シート)
- 令和3年度日本医師会生涯教育制度終了にあたっての「生涯教育申告」のお願い
- 令和4年度日本医師会「認定産業医」新規申請について
- 学校医会報
- 「医療従事者のための糖尿病セミナー」(3/17)
- 地域における自宅療養者等における医療支援強化事業の拡充について
- 日の出町での西多摩医師会員、職員家族のワクチン接種について
- 不審なメールに関するお詫びと注意喚起
- 令和3年度西多摩ワークショップ(3/10)
- 本会へのサイバー攻撃による通信障害のお詫びとアンケートのお願い
- 西多摩ネット講習会(4/26)
- 酸素、医療提供ステーション(味の素スタジアム)への出務のお願い
- 消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)の施行に向けた周知等について
- 令和3年度医療機関における外国人患者対応支援研修について
- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その66)
- 新型コロナウイルス感染症患者に対する外来診療等に係る診療報酬について
- 令和4年度以降のコロナ特例の継続について
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬(パキロビッド®パック)の医療機関及び薬局への配分について(承認直後の試験運用期間)
- 「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver5.0」について
- 『オンライン診療の適切な実施に関する指針』の改訂について」…の改訂について
- 5歳以上11歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の準備(その3)について
- 新型コロナワクチンの3回目接種に関する積極的な周知について
- 地域における社会機能を維持するために必要な事業の従事者等への優先的な接種について
- 令和3年度「日本医師会生涯教育講座」の追加開催について
- 令和3年度東京都在宅療養推進シンポジウム「新型コロナウイルス感染症にかかったら～経験者が語る～」の開催について
- 令和4年度 東京都医師会主催「日本医師会生涯教育講座」の開催スケジュールについて
- インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金(発熱外来補助金)の税務上の取扱いに関するQ&Aについて
- 新型コロナウイルス感染症におけるゼビュディの医療機関への配分について
- ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種に関するリーフレットの改訂について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 情報通信機器を用いた労働安全衛生法の規定に基づく医師による面接指導の実施について
- 新型コロナウイルス感染症への診療報酬上の主な対応について(再周知)
- 外国人への適切な医療提供について
- 小児への筋肉内注射の方法と注意点に関する動画の公開について
- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その67)
- 令和4年度診療報酬改定に係る本会ホーム

- ページへの情報掲載並びに「診療報酬改定講習会」定員数の変更について
- 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第7.0版」の周知について
  - 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第5版）」について
  - 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッド®パック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）
  - 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」のホームページ掲載について
  - 「東京都インフルエンザ情報」について
  - ウクライナ国民への医療支援について（お願い）
  - 後期高齢者医療の窓口負担割合の見直し等に係る周知広報リーフレットの送付について
  - 東京都医師会ホームページの会員専用コンテンツ閲覧に伴うユーザー名とパスワードについて
  - 令和4年度全国健康保険協会加入の被扶養者に係る特定健康診査の保険者負担額について
  - 宿泊療養又は自宅療養を証明する書類について
  - 新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて
  - 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その68）
  - 「病院における患者からの相談や苦情への対応事例調査報告」の送付について
  - バリアフリートイレに設置する呼出しボタン等の整備不良について
  - 信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間延長について（情報提供）
  - 新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴う対応について
  - 令和4年度診療報酬改定に係る告示、通知のご案内について（3月18日付け）
  - 令和4年度第1回難病医療ネットワーク医療従事者向け研修の実施について
  - 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第5.1版）」について
  - 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」がんに関する留意事項の統計等データの更新について
  - N B C R 対策推進機構 第1回「医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会」の開催について
  - TMA 近未来医療会議「社会保障と医療に関わる東京都医師会員の意識調査」の実施について（依頼）
  - 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その1）」及び「令和4年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について」のご送付について
  - 新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）の体制確保について
  - 日本医師会 Web 研修システムに関する利用規定等について
  - 令和3年度医療従事者向け梅毒オンライン研修動画の周知について
  - 令和4年度診療報酬改定に係る告示、通知のご案内について（3月25日付け）
  - 令和4年度診療報酬改定に係る施設基準の届出について
  - 令和4年度東京都医師会産業医基礎・生涯研修会の開催について
  - V-SYS 操作マニュアル第6.0版について
  - オミクロン株の特性を踏まえた保健・医療提供体制の対策徹底を踏まえた対応について
  - B型肝炎ワクチンの供給見込みについて
  - ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会の動画配信と診療マニュアル等について
  - 令和4年度医療従事者ネットワーク講演会の開催について
  - 令和4年度 第1回 東京都立学校産業医研修会の開催について
  - 「新型コロナウイルス感染症流行下における薬局での医療用抗原定性検査キットの取扱いについて」の一部改正について
  - オミクロン株の特徴を踏まえた今後の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について
  - 令和4年度東京都新型コロナ外来診療体制確保協力謝金交付要綱の制定等について
  - 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

- 診療の手引き・第7.1版」の周知について  
 ○新型コロナウイルス感染症に係る請求の留意点について  
 ○地区医師会社会保険担当理事連絡会の補足

資料について

- 保険医療機関が交付するアレルギー疾患に係る学校生活管理指導表の保険適用について

## 医師会の動き

令和4年4月20日現在

医療機関数	192	病院	28
		医院・診療所	164
会員数	508	正会員	207
		準会員	301

### 会議

- 3月8日 定例理事会  
 8日 第4回西多摩地域脳卒中医療連携検討会  
 10日 第4回西多摩地域糖尿病医療連携検討会  
 22日 定例理事会  
 4月12日 定例理事会  
 14日 在宅難病調整委員会  
 14日 在宅難病訪問診療（青梅）  
 21日 広報部会（会報編集）  
 26日 定例理事会

### 講演会・その他

- 3月2日 学術Web講演会  
 《講演》  
 講演①  
 演題：「当院における新型コロナウイルス感染症の対策と治療～第1波からオミクロン株流行に至る22ヶ月間の変遷～」  
 演者：公立阿伎留医療センター 呼吸器内科部長 後藤 慎一 先生  
 講演②  
 演題：「喘息治療のUPDATE～エナジア・アテキユラの使用経験～」  
 演者：渡辺医院 院長 渡邊 東 先生  
 3日 学術Web講演会  
 《講演》  
 演題：「超高齢心房細動患者における抗凝固療法のベネフィットは？」

～ELDERCARE - AFの結果から適正使用を考える～

演者：遠賀中間医師会 おんが病院 循環器内科部長 吉田 哲郎 先生

- 8日 保険整備会  
 10日 西多摩コロナワークショップ  
 ～COVID-19の西多摩医療圏における2年を振り返って～

《講演》

講演①

演題：「当院で経験したECMOを含めた重症例について」

演者：青梅市立総合病院 呼吸器内科 日下 祐 先生

講演②

演題：「公立福生病院PCRセンターの運営について」

演者：公立福生病院 感染管理部 感染管理室 感染管理認定看護師 小美濃光太郎 先生

講演③

演題：「中和抗体療法およびワクチン接種後の抗体価の変動について」

演者：公立阿伎留医療センター 呼吸器内科部長 後藤 慎一 先生

講演④

演題：「医療従事者を対象としたCOVID-19罹患後の後遺症とSARS-CoV-2抗体の推移について」

演者：青梅市立総合病院 呼吸器内科 日下 祐 先生

講演⑤

演題：「自宅療養者支援について」

演者：西多摩医師会 副会長 進藤 幸雄 先生

- 17日 「医療従事者のための糖尿病セミナー」

- 演題:「糖尿病利用者とのかかわりについて」  
 演者:訪問看護ステーション  
 ファミール 泉 加奈 訪問看護師  
 演題:「糖尿病治療の新たな一手」  
 演者:柳田医院 院長 柳田 和弘 先生
- 17日 法律相談
- 19日 西多摩地域脳卒中医療連携検討会  
 市民公開講座「人生会議」  
 《講演》  
 演題:「ACP ってなーに?—終末期医療について—」  
 演者:(医財) 利定会 大久野病院  
 院長 進藤 晃 先生  
 演題:「事例紹介」  
 演者:(医財) 利定会 進藤医院  
 院長 進藤 幸雄 先生
- 23日 学術Web講演会  
 「Pain Live Symposium」  
 《講演》  
 演題:「脊椎脊髄疾患における神経障害性疼痛の治療」  
 演者:福生病院企業団公立福生病院  
 整形外科 副院長 吉田 英彰 先生
- 25日 学術Web講演会  
 「西多摩で考える令和の腎性貧血治療の連携」  
 《講演》  
 演題:「腎性貧血治療の重要性について～HIF-PH阻害薬がもたらしうる可能性も含め～」  
 演者:福生病院企業団公立福生病院  
 腎臓病総合医療センター  
 部長 中林 巖 先生
- 29日 学術Web講演会  
 「不整脈治療 Web seminar」  
 《講演》  
 演題:「聞きたかった!心電図の基本と不整脈のマネージメント」  
 演者:東邦大学大学院 医学研究科  
 循環器内科学 教授 池田 隆徳 先生
- 30日31日 診療報酬点数改定講習会 (西多摩  
 医師会館・Web)  
 第一部  
 演題:「2022年度診療報酬改定のポイント」(病院編)  
 演者:(株)スズケン 橋本智昭 先生  
 (ビデオ視聴)  
 第二部  
 演題:「2022年度診療報酬改定のポイント」(診療所編)  
 演者:(株)スズケン 橋本智昭 先生  
 (ビデオ視聴)
- 4月5日 学術Web講演会  
 ～循環器疾患Web seminar～  
 《講演》  
 演題:「高血圧×心房細動の管理 Up-to-date」-ガイドラインの視点も含めて-  
 演者:自治医科大学 内科学講座  
 循環器内科学部門 教授  
 菊尾 七臣 先生
- 7日 保険整備会
- 14日 法律相談
- 22日 学術Web講演会  
 演題:「慢性腎臓病治療の新たな歴史-SGLT2阻害薬への期待-」  
 演者:日本医科大学多摩永山病院  
 腎臓内科部長 金子 朋広 先生
- 26日 にしたまネットWeb講習会  
 ～にしたまICT医療ネットワークシステムについて～
- 27日 学術Web講演会  
 「疼痛治療を考える会 in 西多摩」  
 《講演》  
 演題:「ガバペンチノイドの可能性と課題」  
 演者:獨協医科大学 麻酔科学講座  
 主任教授 山口 重樹 先生
- 役員出張**
- 3月4日 第17回地区医師会感染症担当理事連絡会
- 9日 医療介護フォーラム (病院会)

17日 第2回西多摩新型インフルエンザ  
等感染症地域医療体制ブロック協  
議会  
18日 地区医師会長連絡協議会  
24日 第2回西多摩保健医療圏地域災害  
医療連携会議  
24日 第18回地区医師会感染症担当理  
事連絡会  
4月15日 地区医師会長連絡協議会  
15日 TMA近未来医療会議シンポジウム  
22日 第1回地区医師会感染症担当理事  
連絡会

**【新規開業】(法人引継)**

氏名 佐々木 裕芳  
施設名 (医社) 求心会 栄町診療所  
所在地 羽村市栄町 1-14-46

**【入会会員】(正会員)**

氏名 濱松 優 (準会員→正会員)  
勤務先 濱松皮膚科  
出身校大学 日本医科大学 平成1年7月卒

氏名 田邊 秀聡  
勤務先 (医社) 恵心会 田村皮フ科  
出身校大学 杏林大学 平成23年3月卒

氏名 佐々木 裕芳  
勤務先 (医社) 求心会 栄町診療所  
出身校大学 東京医科大学 平成10年3月卒

氏名 高崎 圭子 (準会員→正会員)  
勤務先 (医社) 蹊洋会 朱膳寺内科クリ  
ニック  
出身校大学 東京女子医科大学  
平成24年3月卒

氏名 藤来 靖士  
勤務先 公益社団法人地域医療振興協会  
古里診療所  
出身校大学 自治医科大学 平成3年3月卒

**【退会会員】(正会員)**

氏名 濱松 輝美 (死亡)  
勤務先 濱松皮膚科

氏名 田村 祐治 (死亡)  
勤務先 (医社) 恵心会 田村皮フ科

氏名 上柴 このみ  
勤務先 公益社団法人地域医療振興協会  
古里診療所

氏名 伊藤 敬一  
勤務先 伊藤整形外科

**【入会会員】(準会員)**

氏名 山口 忍  
勤務先 (医社) 愈和会 山口内科クリニック  
出身校大学 帝京大学 平成24年3月卒

氏名 白川 裕基  
勤務先 (医社) 弘福会 笠井クリニック  
出身校大学 北里大学 平成25年3月卒

氏名 白川 理永  
勤務先 (医社) 弘福会 笠井クリニック  
出身校大学 北里大学 平成25年3月卒

氏名 谷川 亮二  
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院  
出身校大学 京都大学 平成21年3月卒

氏名 長 慎太郎  
勤務先 (医社) 悦伝会 目白第二病院  
出身校大学 高知大学 平成31年3月卒

氏名 井上 清彰  
勤務先 (医社) 葵会 西多摩病院  
出身校大学 埼玉医科大学 平成8年3月卒

氏名 豊島 宅男  
勤務先 (医社) 長生会 長生病院  
出身校大学 東北大学 昭和60年3月卒

氏名 佐藤 陽三  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 大分大学 平成23年3月卒

氏名 米山 浩志  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 慶應義塾大学  
昭和63年3月卒



氏名 中里 健  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 北里大学 平成 31 年 3 月卒

氏名 小關 優歌  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 聖マリアンナ医科大学  
平成 27 年 3 月卒

氏名 鈴木 将平  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 慶應義塾大学  
平成 29 年 3 月卒

氏名 吾郷 健太郎  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 慶應義塾大学  
平成 24 年 3 月卒

氏名 筋野 朝陽  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 東京医科大学  
平成 29 年 3 月卒

**【退会会員】(準会員)**

氏名 山口 忍  
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院

氏名 東郷 敦子  
勤務先 (医社) 大聖病院

氏名 有馬 博  
勤務先 (医社) 葵会 西多摩病院

氏名 篠 知広  
勤務先 (医社) 悦伝会 目白第二病院

氏名 櫻井 将継  
勤務先 (医社) 秀仁会 櫻井病院

氏名 妻神 重彦  
勤務先 公立福生病院

氏名 加藤 泰裕  
勤務先 公立福生病院

氏名 松岡 信成  
勤務先 公立福生病院

氏名 星 勇氣  
勤務先 公立福生病院

氏名 水間 毅  
勤務先 公立福生病院

氏名 千葉 由幸  
勤務先 公立福生病院

氏名 朝倉 堯  
勤務先 公立福生病院

氏名 次田 正  
勤務先 公立福生病院

氏名 伊原 竜太郎  
勤務先 公立福生病院

氏名 葉山 瑠美  
勤務先 公立福生病院

氏名 佐々木 礎  
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 戸根 修  
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 濱田 健司  
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 藤井 伸哉  
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 吉竹 貴克  
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 庭野 智子  
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 井口 亮  
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 矢内 秀一  
勤務先 青梅市立総合病院

【開設者・管理者変更】

濱松皮膚科  
(新) 濱松 優  
(旧) 濱松 輝美

【管理者変更】

(医社) 恵心会 田村皮フ科  
(新) 田邊 秀聡  
(旧) 田村 祐治

(医社) 蹊洋会 朱膳寺内科クリニック  
(新) 高崎 圭子  
(旧) 朱膳寺 洋文

公益社団法人地域医療振興協会 古里診療所  
(新) 藤来 靖士  
(旧) 上柴 このみ

【会員種別変更】

氏名 朱膳寺 洋文  
勤務先 (医社) 蹊洋会 朱膳寺内科クリ  
ニック

(新) 準会員  
(旧) 正会員

氏名 関谷 進一郎  
(新) 準会員 (法人引継に伴い)  
(旧) 正会員

【廃業】

氏名 伊藤 敬一  
勤務先 伊藤整形外科

訃報

羽村市 (医社) 三秀会 羽村三慶病院  
院長 三浦 剛士 先生 御母堂様  
三浦 輝子様 (93歳)

去る令和4年3月1日 逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

事務局よりお知らせ

保険請求書類提出締切日

令和4年6月(5月診療分) **6月9日(木)** 正午迄  
令和4年7月(6月診療分) **7月7日(木)** 正午迄  
(締切日以前の提出も可能です)

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を  
毎月第2木曜日午後2時より実施いたします。

お気軽にご相談ください。(本年4月より第2木曜日に変更)

◎相談日 5月12日(木)  
6月9日(木)  
7月14日(木)

◎場所 西多摩医師会館  
◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
刑事に関するどのようなものでも結構です。

◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)  
◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 表紙のことば



### 『横浜三溪園』

5月に入ると17.5haの広大な敷地にシャガやさつきそしてつつじと多くの花々が咲きみだれます。

眞鍋クリニック 眞鍋 勉



## あとがき



最近の話題はCOVID-19とウクライナ情勢でしょう。

COVID-19は収束するのでしょうか。

ウクライナはロシアとNATO（日本も含めた先進国と言われる多くの国々が支援してしまっている）の代理戦争の戦場になっているようにも思えます。

日本にいと多くの情報が提供されますが果たしてそれが真実なのか見極めるすべがなくなっているようにも思えます。情報戦争の中では互いにフェイクニュースが混じり罵り合いの応酬になってしまいます。

昔は情報がなかったために誤った判断をすることもあったと思いますが、情報が多すぎるのも困ったもので、無用な情報をいかに切り捨てるかが重要で能力を必要としているところでしょう。

私は今回の戦争は根底にソビエト連邦を復活させたいとの意図があるように思っています（1991年12月ゴルバチョフ書記長の退

任とともに崩壊したソ連は今のプーチン大統領にとって捨てがたい過去の栄光なのかもしれません）。

現在のCOVID-19のパンデミック、そこに生じたウクライナ情勢を引き金とした世界中を巻き込みそうな戦争という狂気。

およそ100年前（1914～1918年）の第一次世界大戦（サラエボでオーストリアの皇太子夫妻がセルビア人によって暗殺されたことをきっかけに欧州を主戦場とした戦争で日本も日英同盟により参戦しています）の終末期に流行し始めたスペイン風邪（アメリカで流行し始めたそうですが世間の関心が低かったことでアメリカ風邪とはならずいかにもスペインで流行し始めたかのような名称になったそうです）。約3年かかって収束したようですが、COVID-19も早く収束してほしいものです。

COVID-19と戦争、なんとなく100年前と酷似しているようにも思います。

近藤之暢

一般社団法人 西多摩医師会

令和4年5月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖

下村 智 土田 大介 鹿兒島武志 進藤 幸雄 奥村 充  
近藤 之暢 菊池 孝 三ツ汐 洋 馬場 一徳 小高 哲郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

## 生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ  
地域に根ざした検査所として歩んできました。  
高度な技術と最新の設備で地域医療の  
さまざまなニーズに対応しています。



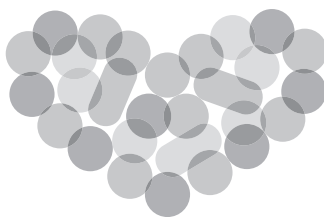
登録衛生検査所

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-6659

URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>



# AISEI

誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日を。

西多摩エリア 11店舗営業中

西分店	河辺店	野上店	野上8番店	羽村羽加美店	福生駅前通り店
羽村店	第2羽村店	福生店	五日市店	あきる野店	

全国320店舗以上の調剤薬局ネットワークと業界トップクラスの医療モール開発



アイセイ薬局